

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【公開番号】特開2019-142831(P2019-142831A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-31340(P2018-31340)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/28 (2015.01)

A 6 1 K 35/35 (2015.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/28

A 6 1 K 35/35

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 15/10

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月19日(2021.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

脂肪組織由来幹細胞又は骨髄由来幹細胞の破碎液をフィルター処理して得られた濾液を含有する、勃起不全治療剤。

【請求項2】

前記フィルター処理の前に前記破碎液を遠心処理し、得られた上清が前記フィルター処理に供される、請求項1に記載の勃起不全治療剤。

【請求項3】

超音波処理によって前記破碎液が得られる、請求項1又は2に記載の勃起不全治療剤。

【請求項4】

器質性勃起障害又は混合型勃起障害の治療に用いられる、請求項1～3のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。

【請求項5】

器質性勃起障害が神経性、血管性又は糖尿病性の勃起障害である、請求項4に記載の勃起障害治療剤。

【請求項6】

PDE-5阻害薬及び／又はプロスタグランジン製剤が併用される、請求項1～5のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。

【請求項7】

以下のステップ(1)～(3)を含む、勃起不全治療剤の製造方法：

(1) 脂肪組織由来幹細胞又は骨髄由来幹細胞を破碎するステップ、

(2) ステップ(1)で得られた破碎液、又は該破碎液を遠心処理して得られた上清をフィルター処理し、濾液を得るステップ、及び

(3) ステップ(2)で得られた濾液を製剤化するステップ。

【請求項 8】

ステップ(1)を超音波処理で行う、請求項7に記載の製造方法。

【請求項 9】

勃起不全の患者の陰茎海綿体、尿道海綿体、外尿道括約筋、又は外尿道括約筋部の尿道粘膜下に投与されることを含む、請求項1～5のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

以下の発明は、主として上記の成果及び考察に基づき完成した。

[1] 脂肪組織由来幹細胞又は骨髄由来幹細胞の破碎液をフィルター処理して得られた濾液を含有する、勃起不全治療剤。

[2] 前記フィルター処理の前に前記破碎液を遠心処理し、得られた上清が前記フィルター処理に供される、[1]に記載の勃起不全治療剤。

[3] 超音波処理によって前記破碎液が得られる、[1]又は[2]に記載の勃起不全治療剤。

[4] 器質性勃起障害又は混合型勃起障害の治療に用いられる、[1]～[3]のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。

[5] 器質性勃起障害が神経性、血管性又は糖尿病性の勃起障害である、[4]に記載の勃起障害治療剤。

[6] PDE-5阻害薬及び/又はプロスタグランジン製剤が併用される、[1]～[5]のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。

[7] 以下のステップ(1)～(3)を含む、勃起不全治療剤の製造方法：

(1) 脂肪組織由来幹細胞又は骨髄由来幹細胞を破碎するステップ、

(2) ステップ(1)で得られた破碎液、又は該破碎液を遠心処理して得られた上清をフィルター処理し、濾液を得るステップ、及び

(3) ステップ(2)で得られた濾液を製剤化するステップ。

[8] ステップ(1)を超音波処理で行う、[7]に記載の製造方法。

[9] 勃起不全の患者の陰茎海綿体、尿道海綿体、外尿道括約筋、又は外尿道括約筋部の尿道粘膜下に投与されることを含む、[1]～[5]のいずれか一項に記載の勃起不全治療剤。